

「鋼構造シンポジウム 2019」アカデミーセッション

第 27 回 鋼構造年次論文報告集 講演会

発表論文・報告アブストラクト募集のご案内

1. 「鋼構造シンポジウム 2019」開催要項

～鋼構造年次論文報告集の刊行及びシンポジウムの開催～

一般社団法人日本鋼構造協会では、1993 年以來、毎年1回「鋼構造年次論文報告集」を刊行し、併せて鋼構造シンポジウム・アカデミーセッションとして掲載論文・報告の講演会を開催しています。また当日は 35 歳以下の若手を対象として、プレゼンテーション方法等を審査し表彰する「優秀発表表彰」も行っています。

2019 年度も「鋼構造年次論文報告集(第 27 巻)」を刊行し、講演会を開催致します。以下の要領で募集致しますので、幅広い分野からの投稿をお待ちしております。

開催日:2019 年 11 月 21 日(木)～11 日 22 日(金)(予定)

主催:日本鋼構造協会

協賛:土木学会・日本建築学会・日本材料学会・日本船舶海洋工学会(予定)

日本風工学会、日本地震工学会・日本鉄鋼協会・溶接学会・日本鉄鋼連盟

場所:TFT ビル(東京ファッションタウンビル)9階(予定)

※本シンポジウムは土木学会 CPD プログラムに認定される予定です。

2. 投稿申込概要および日程

■投稿申込概要

申込資格:不問

申込件数:1 名につき 1 題

著者:会員・非会員問わず、どなたでも可(ただし、著者は 5 名まで)

申込締切:2019 年 4 月 23 日(火)17:00

申込方法:電子投稿システムにて、オンライン投稿をお願い致します。

URL: <https://jssc-symposium.info/author/login>

※操作方法につきましては「4. 投稿要領」をご参照ください。

※論文・報告が掲載された場合、投稿者ご本人に鋼構造シンポジウム/アカデミーセッションにて講演を行っていただきます。

※発表者には「登録料」をお支払いいただきます(年次論文報告集 CD-ROM 代含)。

※登録料の支払時期は、論文掲載確定後(11 月頃)を予定しております。

※応募されたアブストラクトは、『鋼構造論文集』(定期刊行)の公募論文として推薦される場合があります。

■登録料

登録料は会員種別により異なり、それぞれ次の通りです。(税込)

- 第2種(個人)正会員および法人会員所属の個人: 7,300円
- 準会員: 6,300円
- 学生(準会員): 3,200円
- 非会員: 12,400円
- 学生(非会員): 5,700円

※学生の方が会員になる場合の会費は、年間 2,500円(入会金無料)です。協会発行の技術情報誌「JSSC」の年間無料購読、書籍の会員割引適用等、各種優遇措置がありますので、この機会に是非入会をご検討ください。

■日程

- 1) アブストラクト投稿受付期間

2019年3月25日(月) 10:00 ~ 4月23日(火) 17:00

※本年より電子投稿システム(下記 URL)への投稿をお願いしております。

電子投稿システム URL: <https://jssc-symposium.info/author/login>

- 2) 採否通知と原稿執筆依頼.....7月初~中旬(予定)
- 3) 完成原稿提出締切日.....8月初旬(予定)
- 4) 最終採択通知と発表依頼.....9月中旬(予定)
- 5) シンポジウム開催.....11月21日(木)~22日(金)

3. 投稿対象および投稿部門

■投稿対象

- 1) 対象は、鋼構造とその複合構造に関する独創的な研究や技術開発、創意工夫に満ちた設計・施工・維持管理に関する事例及びケーススタディー等の論文・報告とし、新規性・実用性に富み、技術的・工学的に価値のあるものとします。
- 2) 工事報告など、従来の学術論文の形式になじみにくかったものも対象としており、実務者の方々の投稿を歓迎します。
- 3) ひとつの論文・報告はそれ自身で完結した体裁を整えているものとし、宣伝に偏した内容は避けてください。
- 4) 投稿論文・報告は審査付きであり、原則として未発表の内容に限りませんが、下記の条件に該当するものは、既発表の内容であっても応募可能と致します。
 - 大会学術講演会、支部研究発表会等で発表したもの
 - 国際学会、コロキウム等で講演するため、その概要または講演論文として発表したもの
 - 大学の紀要、研究機関の研究所報及び会社技報などに発表したもの
 - 国、自治体、業界、団体からの委託研究の成果報告書
 - 既発表の論文・報告を統合・再編成し、新たな知見を加えてレベルアップしたもの

■投稿部門

投稿部門は次の21部門とし、投稿申込時に希望部門を選択するものとします。

- 【1】材料 【2】耐荷力 【3】骨組 【4】接合部・継手 【5】部材 【6】床板
- 【7】橋梁一般・構造景観 【8】吊構造 【9】合成・複合構造 【10】構造解析 【11】設計
- 【12】施工 【13】製作 【14】振動・制振・耐震 【15】疲労・破壊 【16】腐食・防食
- 【17】補修・補強 【18】維持管理・マネジメント 【19】環境・LCA
- 【20】計測・検査・モニタリング 【21】その他

4. 投稿要領

本年から、次の電子投稿システムにて新規投稿者登録を行った上で、投稿を行ってください。

電子投稿システム URL: <https://jssc-symposium.info/author/login>

新規投稿者登録はログイン画面の「新規登録」ボタンから行うことができます。

※投稿者＝発表者となりますので、必ず発表者の方がアカウント作成および投稿を行ってください。

■新規投稿者登録時の入力項目(下線部:必須項目)

- 1) 姓名
- 2) 所属先機関名
- 3) 学位
- 4) 住所、Tel、Fax
- 5) 発表者が2019年4月末時点で35歳以下であるか否か
- 6) 発表者が過去に2回以上優秀発表表彰を受けたか否か
- 7) 会員登録状況
- 8) アカウントのメールアドレス、パスワード

登録が完了すると、上記「8)アカウントのメールアドレス」宛に登録完了メールが届きます。必ず内容をご確認の上、修正がありましたらログイン後「投稿者情報変更」から編集していただけますようお願い致します。

※メールアドレスを間違えて登録された場合、ご自身では修正することができません。「6. 各種お問い合わせ先」の【株式会社 TKP メディカリンク内 年次論文報告集システム 担当】までご連絡ください。

■アブストラクト投稿の流れ

システムにログイン後、「新規登録」ボタンより投稿画面にお進みください。

登録は、投稿者情報確認→共同著者情報入力→論文情報の順に進みますので、画面の案内に従って必要事項を入力してください。

「論文・報告要旨」(2 ページ)は論文情報登録ページにて、PDF データを添付していただけます。

必要となる情報は次の通りです。

- 投稿者情報確認(前項「新規投稿者登録時の入力項目」で、入力した内容の確認)
※投稿者＝発表者となりますので、修正があればこの画面で修正を行ってください。
- 共同著者情報入力(姓名、所属先機関名、学位、メールアドレス、会員登録状況)
- 論文情報(全て必須項目)
 - 1) 希望投稿部門(投稿部門【1】～【21】)
 - 2) 分野の区分(①土木、②建築、③土木・建築共通、④造船・海洋、⑤その他)
 - 3) カテゴリー(論文 or 報告)
※「論文」は学術的観点から、「報告」は技術的観点から審査されます。))
 - 4) キーワード(3～5個)
 - 5) 論文・報告題目(和文題目と英文題目)
※和文題目は30文字以内、英文題目は20 words 以内とし、副題(その1、その2等)や商業宣伝となる用語、等の使用は認められません。
 - 6) 論文・報告原稿 使用言語(和文もしくは英文)
 - 7) 「a)新規性」、「b)実用性」のどちらか一方(両方でも可)を400文字以内で必ず記載して下さい。
(英文の場合は200～300words 程度)

※入力内容および「論文・報告要旨」データ内に不適切、あるいは不明確な記述があった場合は、登

載可否の審査対象外となることがあります。

※入力された投稿者・共同著者情報は、本論文集業務内で利用させていただく場合がございます。

■「論文・報告要旨」(PDF,2 ページ)の作成要領

論文・報告要旨は 2 ページ(A4 縦置、横書、それ以外の書式は自由)で、タイトル、著者名(著者所属)を最初(上部)に記載の上、論文・報告内容の概要として、(i)目的(ii)方法(iii)結果と考察(iv)結論 の 4 項目に関わる内容を、参考図等を加え、具体的に分かりやすく記述して下さい。

■「論文・報告要旨」(2 ページ)のデータ形式

- 1) 原稿は、Adobe Acrobat 4.0 以上を用いて変換された PDF ファイルを、1 ファイルとして提出してください。ファイルサイズは 2MB 以内としてください。これを超えた原稿は受付られません。また、投稿するファイルは PDF 形式とし、圧縮ツールは使用しないでください。
- 2) PDF 化にあたっての解像度の設定についての制約は設けません。図・表・写真等を原稿に張り付けた状態で上記のファイルサイズ以内に納まるよう、執筆者で自由に設定してください。ただし、画像データ(図・写真)を含む場合、PDF ファイルに変換することにより、出力品質が劣化することがありますので、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は 600~1200dpi 程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像(写真等)の解像度は 300dpi 程度が目安となります。
- 3) 本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色の制限はありません。
- 4) PDF ファイルにファイルロック等のセキュリティやパスワードの設定を絶対に行わないでください。また、何らかのトラブルで原稿(PDF ファイル変換前の原稿)を別途提出していただくこともありますので、原稿ファイルは削除しないで必ず保管しておいてください。

※PDF ファイル閲覧専用の Acrobat Reader では PDF ファイルに変換することはできません。

※PDF ファイルへの変換の際にエラー等が発生した場合は、アドビシステムズ株式会社のウェブサイト(<http://www.adobe.com/jp/>)をご参照ください。

■書式設定

原稿で使用するフォントは以下に限定してください。

○ S:Windows Macintosh

日本語:MS 明朝または MS ゴシック、細明朝、中ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック

英 字:Symbol、Times、Times New Roman

※注意事項

和文フォントに関しては、パソコンの機種等により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使いください。特に Windows をお使いの場合は、人名辞書にはあるが第二水準に無いような文字(、など)がありますので注意してください。機種/フォントに依存する特殊文字(①、②、I、II、m²等)、半角カタカナおよび半角「、」。「」、HG 系フォント、修飾文字は機種によっては文字化けしますので、別の文字に置き換えてください。これらの制約は異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要となります。

5. 年次研究発表会委員会委員名簿(予定)

〈委員長〉

吉 敷 祥 一 (東京工業大学)

〈副委員長〉

岩 崎 英 治 (長岡技術科学大学)

〈委員〉

浅 田 勇 人 (神戸大学)

阿 部 雅 人 (株BMC)

大久保 宣 人 (日本ファブテック株)

大 家 貴 徳 (株巴コーポレーション)

岡 田 誠 司 (株IHI インフラシステム)

岸 祐 介 (首都大学東京)

城 戸 将 江 (北九州市立大学)

小 松 正 貴 (株日本構造橋梁研究所)

佐 藤 篤 司 (名古屋工業大学)

島 田 侑 子 (千葉大学)

清 水 信 孝 (日本製鉄株)

高 井 俊 和 (九州工業大学)

田 村 洋 (東京工業大学)

寺 尾 名 央 (JFE スチール株)

永 谷 秀 樹 (宮地エンジニアリング株)

西 尾 真 由 子 (横浜国立大学)

林 政 輝 (株NTT ファシリティーズ)

廣 畑 幹 人 (大阪大学)

向 出 静 司 (大阪工業大学)

茂 呂 充 (株長大)

安 田 聡 (大成建設株)

安 永 隼 平 (JFE スチール株)

山 田 耕 介 (株アロイ)

吉 田 文 久 (大和ハウス工業株)

渡 辺 仁 (株久米設計)

2019 年 4 月 予 定

6. 各種お問い合わせ先

- 開催概要、登録料、投稿部門について
【日本鋼構造協会 年次論文報告集 担当】
Tel:03-3516-2151
E-mail:koukouzou-nenji@jssc.or.jp
- 協会会員登録状況、資格等について
【日本鋼構造協会】
Tel:03-3516-2151
E-Mail:JSSC-INFO@jssc.or.jp
お問い合わせフォーム:<http://www.jssc.or.jp/reference/index.php>
- 電子投稿システムについて
【株式会社 TKP メディカリンク内 年次論文報告集システム 担当】
Tel:03-5206-4001
E-mail:jssc@tkp-med.jp